

は成長発展が望めなくなり、インターネットで情報が飛び交う時代がやってくる。

木之本ライオンズクラブ三十五周年行事に向けて、記念委員会の皆様の御協力をよろしくお願いたします。

我々クラブ員は日頃何らかの形で家族に負担をかけていると思います。納涼家族例会の外に、家族をお呼びして、コーヒーを飲みながら、今までお世話になったゲストの方々と共に、なかなか会が持てたらなあと思つています。音楽会などいかがでしょうか。

■財務委員会

委員長 L 高橋 七郎

本年度は、チャーターナイト三十五周年という節目の年に当たり、クラブとしては大きな出費も予想されますが、一般会計とは区別され、すので、老朽化により使用不能となったためコピー機（ファックス・プリンタ機能付）を什器備品費より購入の予定で、その他の予算関係については、例年に比べて大きな変動はございません。予算額については、各委員会等皆さんからの予算請求に基づいて編成しておりますので、有効に執行されることを願いたします。

クラブの運営ということになりますと、当然ながら「維持費」が必要です。質素節約に努めたとしても、必要不可欠な部分もござります。現在の混沌とした世情ではなかなか難しい問題ではあります。正直なところ、会員数に左右されるクラブの財政としては、会員数の増減については少なからず関心のあるところ。今年度は精一杯の予算編成を致しております。今後の会の運営に、皆さんの一層のご支援ご協力をお願い致します。



■広報・情報・会報編集委員会

委員長 L 速水 五郎

本年度の広報委員長を命ぜられ、出版の時節になり困惑いたしております。が、歴史有る七本槍を充実した広報紙に仕上げられる様願ひます。規約では年三回の事ですが、新年度八月は前委員会が発行されましたので新番号と初夏号の二回になります。悪しからずおゆるし下さい。

内容的にはクラブの諸活動の記録と会員相互の親睦がはかれる物にしたいと思つて。各ライオン諸氏夫々が、ささいな事柄・旅行したこと・家族子供達の事、何でも結構です。出稿をお願い致します。

今回は駒井先生ならびに安井先生の伊香郡医師会報に出稿された原稿を掲載させていただきます。どうか次々とふるって御出稿下さい。

■会員指導力育成委員会

委員長 L 平井 清

不肖、私、本年度、会員委員長を命ぜられました。そこで、先日、皆様に新入会員についてのご推薦方をお願いいたしました。しかし、締切日までは、スポンサー一名による候補者三名のみでありました。そこで、再び皆様にお願いたしましたところ、幸いにして、規約通りスポンサー二名による候補者四名のご推薦をいただきました。

そこで、会員委員会では、その内の三名の方方について適切と考え、理事会のご審査を煩わせたところでありました。しかしながら、残念にして、それぞれの方々のご都合によりただの一名の方の新規加入すらも望めないという結果に終わってしまいました。これ偏に木之本ライオンズクラブそのものを第三者に理解していただけなかったことと共に、委員長である私の不徳のいたすところと深く反省をいたしていただいております。

ところで、木之本ライオンズクラブは、発足時はわずか十九名、チャーターナイト当時ですらわずか二十五名でありました。しかし現在では、歴代役員の方々のご尽力の御陰をもちまして、CN当時の倍に当たる五十名の会員を擁するクラブにまで発展をいたしてまいりました。総人口約三万人の伊香郡にあつては、本当は、私たちの存じ上げない有力なライオン候補がお

られることと思つていますが、規定に基づく二名のスポンサーによって推薦者を見つけ出すということになりますと、万やむを得ないことと思つていますが、新人の発掘は極めて困難なことといわなければなりません。

また一方、物故ライオンを除いた退会ライオンや終身会員の皆さん等、相当数の方々が、何故退会されたり、例会に出席されないのか、ということとは、現実の問題として、十二分に検討する必要がある課題と存じます。そしてこのことは、現在在籍している私たちに大いに責任があるのではないかと思つています。

「例会がマンネリ化して、ちつとも面白くない」という声をよく耳にいたします。私はその原因の一つに、大半の理事さんが、新機軸を打ち出すことに議論を戦わさないで「昨年はいかがでした。だから今年もこれでいこう」と前例踏襲をモットーに進めておられる嫌いがあります。これでは全く保守的で、そこには何らの進歩も発展もありません。

そこで、私は一つの試案として、これからは前会長以外を別枠として、現在の副幹事さん以下すべての副の方に新しい方々にご就任いただき、現在の正の役員の方々のもとでいろいろと見聞を広め、より楽しい例会、より意義のある例会となるよう勉強を重ねていただき、自分が来年就任した場合には、この方針で皆さんのお力添えをいただき、より新しい発想のもとでみんなが文字通り待ち遠しい例会にしたいだけないものであろうかと思つております。

更にもう、今日では同行会はゴルフ部しかありませんが、こうした会、かつてのダンス部や謡曲部、あるいはドライブクラブや麻雀部、書道や写真などの倶楽部を復活させ、それぞれの部会を通して、会員相互間のより一層の親睦を図り、人と人との交流から、ライオンズに入つて本当に良かったということが出来るような倶楽部にしていただきたいものであると思つております。

例えば、このようにでもなれば、退会者も少なくなるのではないかと思つています。また、クラブ員以外の方々からも、そんなに面白い、有意義な会ならと進んで入会される方もあるのではなからうかと思つています。

私は、年に二、三回海外へまいります。昨年の秋にもパリのオペラ座で三名のフランス人のライオンと一緒にいました。勿論、お互いに一面識もない者同士でありましたが、お互いに相手の襟につけてあるバッヂを指差し、ライオンという共通項から、堅い握手を交わしまし

た。これからは、皆さんも海外旅行をされることが多いことと存じますが、襟につけたバッヂは何物にも代え難い絶大な信用のシンボルと思つてます。従つて、皆さん！どうか夢ゆめライオンズを辞めるといふようなことは考えないで下さい。

尚、会員委員長として、ひとつ是非、この機会に皆さんにお願いしたいことは、何年か前のことでありましたが、新入会員の推薦に当たり、スポンサーが副スポンサーの意志を確認することなく、副スポンサーの氏名を記入されたことがあつたと聞いております。その結果、トラブルが起り、クラブとしてもその修復に往生したと聞いております。どうか今後は、こういった間違いのないよう、必ず正副スポンサー同士が十二分にご協議の上、各自自署し、推薦状を提出下さいますようお願い申し上げます。

■教育委員会

委員長 L 藤田 毎馬

今年度はCN三十五周年の年でもあり、特に例年より変わった予定はございませんが、この時期になりますと、すでに終了している事業もいくつかございますので、報告も兼ねてお知らせいたします。

八月八日には、第五回伊香郡スポーツ少年団交流大会が開催され、関係各位のお陰をもちまして約七〇〇人のチビッコと指導者・保護者と共に熱く燃えた一日を過ごしました。また、十



月八日には、伊香郡内の小中学校の障害児学級生二十六名と引率教諭二十一名の参加により一日バス旅行を致しました。早く出発したくてウズウズしていた子供達を乗せたバスは、伊香郡民会館を八時十五分に出発し、まず「ゆのくにの森」に到着。オルゴール作りやろくろで茶碗を作ったり、ガラスコップに吹き付けをしたり等など色々な体験学習をし、続いて「加賀百万石時代村」では、まさに江戸時代に迷い込んだような雰囲気を楽しんで、それぞれに気持ちを残しながらも五時三十分に戻ってきました。

十一月三日には、江北図書館へ図書贈呈。十一月二十三日には第三十二回伊香郡美術展覧会に協賛し、授与式に出席してライオンズクラブ賞の賞状を贈呈致しました。

春には、伊香郡指導センター主催の第十八回伊香郡柔剣道大会も開催される予定で、当クラブは例年後援しておりますので今回もその予定です。

青少年教育を主とした教育委員会事業は、種類も回数多く、又出費も多いことは既に皆様にはご承知のことですが、大変意義のある事業でもあります。今後とも教育委員会事業にご理解とご協力を賜りますようお願い致します。

